

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『菜の花エコプロジェクト 野菜販売を始めました！』

5月26日（水）から、あすばる物産館において、『菜の花エコプロジェクト』事業で生産した野菜の販売を始めました。

たい肥は、一般家庭から出された生ゴミと草木を混ぜて作られた完熟たい肥です。これを使うと虫がつきにくくなるという特徴があるようです。また、農薬を使っていませんので、安心して食べられます。みなさんも昔なつかしい味を楽しんでみてはいかがでしょうか。

『持留川河川敷伐採 ボランティア』

6月5日（土）、持留川河川敷（せせらぎ公園前）の伐採ボランティアが行われました。

この日は、大崎町内の建設業者など37業者（県建設業協会曾於支部大崎分会、建錬会および大崎土木会）が、地元社会への貢献・河川愛護月間（5/21～6/20）・下水道事業の事業効果および推進を目的として行い、130人が参加しました。伐採した草は、野方（角堂）にある大崎有機工場（宥そおりサイクルセンター）へ持ち込まれ、たい肥として生まれかわります。

作業には、ビーバーや重機などが用いられ、河川敷は、またたく間にきれいになりました。



『大崎土木会が 剪定ボランティア』

6月19日（土）、大崎土木会（16業者）の会員の方々が、ボランティアで公民館前のツツジや大崎町役場敷地内のフェニックスなどの剪定をしてくださいました。

当日は、台風が接近中ということもあり、時おり吹きつける突風と小雨が降るなかでの作業となりました。フェニックスの木は、高さが5メートル以上もあり、はしごに登っての作業でしたが、さすがはプロ、手際よく剪定をされていました。

大崎土木会のみなさんありがとうございました。